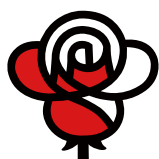


安心のまち  
人がつながれるまち  
明日に誇れるまち

の  
実現

# 北区防災計画



大阪市北区役所

平成 27 年 6 月



# 目次

002	はじめに
004	第1章 北区の特性と災害の想定
006	第1節 北区の特性
015	第2節 本計画で想定する災害
022	第2章 総則
024	第1節 区役所、区民、事業者の責務と役割
027	第2節 災害時応急対策活動
031	第3節 災害時即応体制の確立
034	第3章 各論
035	第1節 情報の収集・伝達体制の確立
037	第2節 初期消火体制の確立
039	第3節 災害時医療機関情報の把握と救護体制の確立
041	第4節 避難所における管理運営体制の確立
043	第5節 避難行動要支援者の把握など
045	第6節 災害ボランティアの体制整備
047	第7節 帰宅困難者の避難対策
049	第8節 津波等発生時の避難対策
052	巻末資料
	北区防災マップ
	北区ハザードマップ
	津波から命を守るために
	北区災害年表
	情報収集先一覧
	防災関連マニュアル一覧
	用語解説

## はじめに

北区は大阪の玄関口に位置しており、区の北側を流れる淀川は、毛馬から分かれ大川となって都心部に入り、中之島で堂島川と土佐堀川に分流します。

北区は、これらの川に囲まれており、便利な水運と豊かな用水を生かして発展してきました。

一方で、過去には度々水害が発生し、区民を苦しめてきましたが、大規模な淀川の改修工事などを経て、現在まで発展を続けてきました。

昨今、地球温暖化の影響を受けた集中豪雨や、東日本大震災以降に日本各地で頻発している地震、平成 25 年度に大阪府が発表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」などを受けて、大阪市においても市民の危機事象に関する関心が高まってきており、とりわけ高度な都市機能が集中しているうえ、低地にある北区にとっては防災に関する取り組みの重要性が一層増しています。

こうした背景のもと、北区では官民一体となった防災活動が円滑に行えるよう、中長期的な展望も見据えた「北区防災計画」を策定しました。

この「北区防災計画」は、災害に対する事前の備えや災害直後の区役所、区民、事業者の責務、役割について特に重要な項目に絞って、わかりやすく記載し、災害時にそれぞれが役割どおりに行動できることを目的としているため、必要最小限の記述にとどめています。

そのため、本計画とともに「大阪市防災・減災条例」、「大阪市地域防災計画」なども併せてご参照いただくようお願いします。

本計画が、区民、事業者の皆さまにとって役立つものとなり、それぞれの防災力の向上に寄与することを願っています。

大阪市 北区長 古屋 和彦



# 第1章

## 北区の特性と 災害の想定

- 006 | 第1節 北区の特性
- 015 | 第2節 本計画で想定する災害

第1章

北区の特性と災害の想定



## 第1節 北区の特性

### 1. 北区の概況

#### ■地理・交通 - 川に囲まれ、断層が貫く西日本最大の商業地

北区は大阪の玄関口に位置し、北は淀川、東は大川、南は土佐堀川と三方を河川に囲まれ、西は福島区に隣接している。

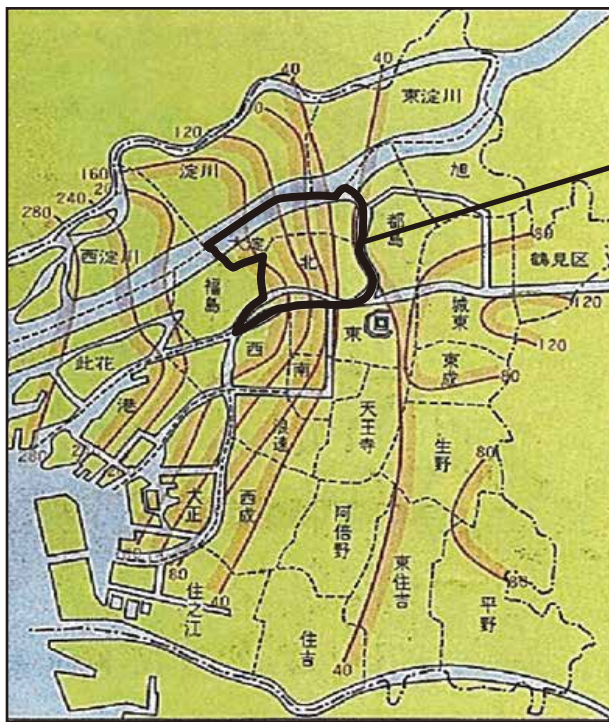
北区の地形は、河川の堆積作用により形成されており、軟弱で地震時には液状化が起こりやすい。また、昭和初期の過剰な地下水くみ上げによる地盤沈下によって、河川水位より地表が低くなる現象が生じている。東側には大阪を南北に貫く上町断層が存在している。

北区の中心部の JR 大阪駅周辺は、阪急・阪神・地下鉄・市バスの大ターミナルであり、鉄道駅を中心としてオフィスビル、百貨店、ホテル、飲食店が集まり西日本最大の商業地を形成している。

中心に位置する梅田新道は、国道 1 号（東京～大阪間）の終点であるとともに国道 2 号（大阪～福岡間）の起点であり区内を東西に横断している。さらに、この付近から商都大阪の交通の大動脈である御堂筋と新御堂筋がそれぞれ南と北へ延びている。また、幹線道路や阪神高速は都心部から放射状に伸びており、北区は道路交通の要所となっている。



北区の交通網図



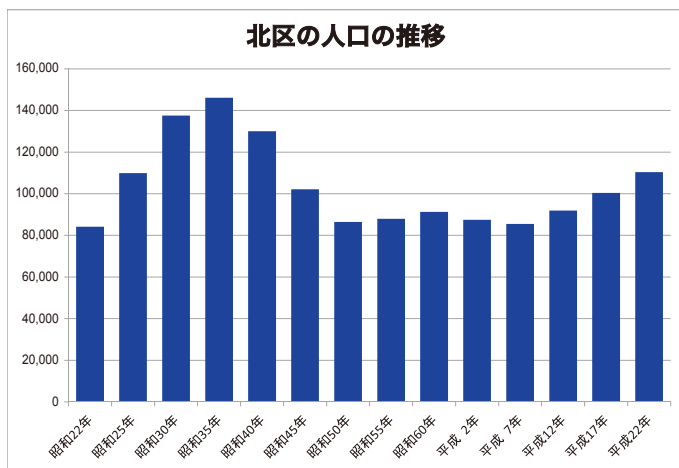
大阪市内の地盤沈下等量線図  
(昭和10年～54年累計 単位:cm)  
出典: 大阪市高潮対策事業概要 大阪府

■地域・区勢 - 増加を続ける人口。支援が必要な方が増えている

JR 東海道線支線の南部のほとんどは商業地域であり高密度の街が形成されており、近年は高層マンションなどの住宅建設が進んでいる。淀川や大川のリバーサイドは、かつて工場が建ち並んでいたが、近年は大規模集合住宅や公園が整備されており、職住近接の都心に最も近い住居地域として注目されている。

北区の人口は平成7年以降増加傾向にあり、常住人口は約12万人となっている。一方で、昼間人口は約38万人と昼夜間人口比率が高いのが特徴である(平成22年国勢調査より)。また、ターミナル駅周辺の繁華街は夕方から夜間にかけて人口が増える傾向にある。

要配慮者となる、65歳以上高齢者、乳幼児・乳児、外国人、障がい者はそれぞれ、



高齢者約2.2万人、乳幼児・乳児約5.3千人、外国人登録人口約4.4千人、障がい者約5.9千人である。このほか、災害時に周囲の手助けや特別な配慮が必要な方は多数存在するため、日頃からの支えあいや見守りがとても大切です。

北区の人口の推移

出典: 大阪市北区役所ホームページ





梅田の街並み

(c) 大阪観光局 ((公財)大阪観光コンベンション協会)



阪急東通り商店街

(c) 大阪観光局 ((公財)大阪観光コンベンション協会)



川沿いの住宅郡 (淀川リバーサイドタウン)

出典：デジタルギャラリー 2010

### ■ 地域団体など - 歴史ある連合振興町会とともにエリア開発が進められている

区内には 19 の連合振興町会があり、各種地域活動を実施しているほか、60 の商店街組織が商店街の運営を行っている。

また、一体的な開発が行われた堂島や梅田のエリアでは開発協議会やタウンマネジメント組織などの組織が形成されている。



天神橋筋商店街

(c) 大阪観光局 ((公財)大阪観光コンベンション協会)



開発が進む大阪駅周辺 (グランフロント大阪)



お初天神通り商店街

(c) 大阪観光局 ((公財)大阪観光コンベンション協会)



済美カーニバル (済美地区)